月刊
城南SSH
福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙
令和８年度６月号
ＳＳＨ課発行

第３学年

理数ゼミ・ESD 探究　研究発表会

６月１７日(水)５～７限に「理数ゼミ・ＥＳＤ探究」研究発表会を実施しました。３学年の ESD 探究は、下記のように９つの傘に分かれ、１班３，４名で、それぞれ班員と協力しながら２学年時より課題研究に取り組んできました。

傘２	影響する・感じる	傘３	受け取る・繋がる
傘４	広げる・伝える	傘５	知る・考える
傘６	作る・流れる	傘７	支える・助ける
傘８	生きる・育む・育てる	傘９	動かす・止める
傘 10	変わる・豊かにする		

昨年１２月に実施した中間発表会で得た助言などをもとに、さらにリサーチを続けてきました。データの集め方や分析方法などにも工夫を重ね、中間発表会よりも深い内容に仕上げることができました。ポスターは、聞き手に伝わるように何度も改良し、それを使ってすべての生徒が１人で発表を行いました。１年生と２年生も参加したほか、保護者の方や他校・大学の先生方にもたくさんご来校いただき、緊張感が漂う中でしたが、自分の言葉で発表したり、質問に応えたりすることができました。約１年３か月、答えのない問いを考え続け、大変なことも多かったですが、多くのことを学び、仲間とともに最後に一つの形として発表でき、達成感を得ました。城南高校の最上級生として、また一つ成長できたように思います。

聴衆も熱心に参加し、活発な質疑応答も行われました

理数ゼミでは、A0 サイズのポスターを使用して発表を行いました。ポスターを指しながら説明するだけでなく、研究の際に使用した器具や成果物を実際に見せながら発表するなど、伝わりやすい発表を行っていました。質疑応答の時間では、鋭い指摘をいただく場面もありましたが、臆せず答えようとしており、理数ゼミで行ってきた課題研究のすべてを出し切ることができました。当日は１・２年生の理数コースの後輩や他校の教員、先端技術体験講座などでお世話になった大学の先生方に発表を見ていただきました。前回の発表からとても改善されているとほめられた班もあれば、データ収集や分析に改善すべき点があってこの後も研究を続けていきたい・もう１年研究をしたいと感じている班もありました。

今後は、いただいた質問やアドバイスをもとに、研究論文の作成を進めていきます。また、９月には英語によるポスター発表会が行われるので、その準備も同時に進めていきます。

セキレイ属の尾振りの機能的意義について説明しました

大学の先生方からも多くのアドバイスをいただきました